

1. 教育の責任

学修活動を通じて、地域や社会の持続的な発展に貢献できる人材、自分らしいリーダーシップを発揮できる人材、自分らしいキャリアを主体的に歩むことができる人材を育成する。

「キャリアデザインⅢ、Ⅳ」（春秋学期、2 単位 x 2、2 年生 24 人）、経営学の扉（春 1 コマ、秋 1 コマ）

「アントレプレナーシップ入門」（春学期、2 単位、40 人）、「組織行動論」（秋学期、2 単位、100 人）

「飲食店の起業を学ぶ」（サマースクール、2 単位、10 人）、「フィールドスタディⅢ」（サマースクール、2 単位、7 人）

2. 教育の理念

学修活動において、①基礎的な知識と知識を生み出す思考様式(Knowing)、②コミュニケーションやリーダーシップといったコンピテンシー(Doing)、③自分らしいキャリアの軸 (Being) をバランスよく身につけられるよう指導する。

3. 教育の方法

教育の目的と目標

(教員としての目標)

- ・知識や技術の伝達方法 分かりやすい事例で説明する。知のフロンティアに触れさせる。知識伝達だけではなく、実践と内省を促す。現場に積極的に出る（フィールドスタディ）。
- ・学生との接し方 問いかけを行う。インタラクティブティーチング。演習をとり入れた PBL。
- ・自らの専門分野における教員としての成長や発展 研究活動に継続的に取り組み、論文や書籍を執筆する。

(学生に求めること、学生に対する期待)

- ・学生の専門能力の向上 基礎的な概念を理解した上で、理論、実践、内省のサイクルを回す。
- ・学生の人間的成長 実践と内省(1 on 1 面談)を通じて、自分の価値観、使命、強みへの理解を深める。

教育実践

(教育実践)

- ・シラバス 科目ごとに作成し、el-campus に掲載。
- ・課題、試験 主にレポートや、プレゼンの成果を評価。
- ・教科書の選定、テキスト 組織行動論のみ教科書を指定。それ以外はプリント配付。
- ・学習方法 グループワークによる課題解決やその中のリーダーシップの涵養を重視。
- ・双方向的な学習 リフレクションシートに授業の振り返りを書き込ませ、フィードバックを行う。
- ・Web の利用 同上
- ・講義スタイル 対面による講義、演習。

4. 教育の成果

学生からの授業評価アンケートにおいて、満足できるレベルの評価を得ることができた。

5. 改善への努力と今後の目標

- ・キャリアデザインⅢ、Ⅳについては、学生が自己肯定感を高められるよう、ポジティブフィードバックの頻度を増やすとともに、1on1 面談や自己紹介エッセイの作成を通じて、学生自身が自分の強みを発見することを支援した。今後、継続的に改善する。
- ・アントレプレナーシップ入門は、具体的な飲食店事業の新商品開発の事例に取り組みさせることで、アイデア検証の重要性を学んだ。引き続き、具体的な商品をもとに、アイデア検証の重要性を学ばせたい。
- ・組織行動論については、企業の現実的な課題に触れさせることで、経営現象についての理解を深めた。引き続き、具体的な企業の課題に取り組みせるとともに、理論を応用する力を高めたい。
- ・飲食店の起業を学ぶについては、数字について弱さが見られたので、コストや収支に関わる説明を工夫したい。
- ・フィールドスタディⅢについては、台湾のツーチー大学との包括連携協定を締結し、今後の互恵的な関係構築の基盤を構築することができた。トライアルを重ねつつ、リーダーシップ開発や経済のグローバル化の理解に資するプログラムに発展させたい。

【添付資料】

- ・シラバス